

南地区のハンディキャブ関係者の交流会

12月3日(土) 11時30分から、相模大野の中華料理 吉好亭(きこうてい)で南地区ハンディキャブ関係者交流会が行われました。運転者・介助者・事務局員 8名の方々と、吉留(よしどめ)副会長・杉本理事・加藤ハンディキャブ委員長が参加しました。食事をしながら、来年度から施行される利用料金改定や10号車の更新計画(平成30年2月、ホンダ N-BOX)の紹介と、日頃の活動に関するお互いの意見交換などを行いました。そこで出されたご意見のいくつかを紹介します。

ハンディキャブを
ぼらんていあ

利用料金改定: 迎車料金、場合により利用者負担感に差が。

10号車の更新計画: 乗車定員「3人」は少ないのでは。

高齢者運転事故: 自己判断は難しいので周囲のチェックを。

新たに運転者3名の方が参加!



この度下記3名の方が新たに運転者として加わりました。
下里さんはあじさい地区で11号車で運行、中臺さんは南地区でセダン運行(自家用車での運行)、そして舟橋さんはあじさい地区でセダン運行を行います。皆さんよろしくお願ひ致します。

少しずつ勉強して・・・

下里 作衛(しもざと さくえ)

今回、ハンディキャブ活動に参加する事になりました、下里作衛です。

ボランティア活動は、自身の生活環境が許せば参加したいと考えていたので、「ボランティア養成講座 受講者募集!!」を見て応募しました。

活動内容の知識が全然無い為、コース別講座の概要を読んで「ハンディキャブ活動」に決めました。活動に必要なスキルは奥深いので少しずつ勉強して一人前を目指します。

趣味といえるかわかりませんが、家族で旅行も含めてあちこち街を見て廻るのが好きです。

ハンディキャブ活動への参加について

中臺 博(なかだい ひろし)

- 動機は、ある友人が車いすでの外出に大変苦労なさっているという話を聞いた事です。
さらに、現在さがみはら市民後見人を目指し、研修中なのですが、来年度受任に向けてこうした技術も必要ではないかと感じたことです。
- 他の活動としては、NPO 法人ナルク横浜において、会員相互の助け合い活動をしたり、さがみはら防災マスターや認知症キャランメイトとして、認知症サポーターの育成や地域でも防災意識の向上に励んでいます。
- 抱負としては、お子様からお年寄りが、自由に参加し、集える地域コミュニティーの場づくりです。
- 趣味は、消防が好きでブログを書くことと、映画鑑賞・ドライブなどです。
- 障がいをお持ちの方や、お年寄り、お子様にやさしい知育づくりに貢献できたらと考えています。

私でも世の中のお役に立てるのでは?

舟橋 浩(ふなはし ひろし)

ぼらんていあ通信の「ハンディキャブ運転者募集」を見て、私でも世の中のお役に立てるかも?と思い立って講習に参加し、このたび新米運転者として参加しました舟橋です。運転歴は50年以上ありますが、身内や友人以外をお乗せしての運転は初めてなので、解らないことばかりですので、よろしくお願ひいたします。

5年前に川崎から相模原に引越してきました。現在はマンション理事の仕事や、地元でグランドゴルフクラブを楽しんでいます、趣味は花や風景の写真を撮ることです。

私もそろそろ面倒を見ていただく年齢ですが、ジム通いと散歩などで至って元気なので、是非お役に立ちたいと思っています。先輩の皆様方よろしくお願ひいたします。